マンモグラフィの紹介

マンモグラフィとは

乳房の X 線撮影のことをマンモグラフィといいます。乳房は柔らかい組織でできているため、専用の X 線装置を使い均等に圧迫して撮影します。

撮影方法と時間は・・？

メガネやネックレスをはずして、上半身裸になっていただきます。制汗スプレーをつけている方はよく拭き取ってください。装置の上に乳房をのせ、圧迫板で乳房を均等に圧迫して撮影します。片方の乳房につき２方向の撮影を行います。撮影全体にかかる時間は１５～２０分程度です。

なぜ圧迫するの？

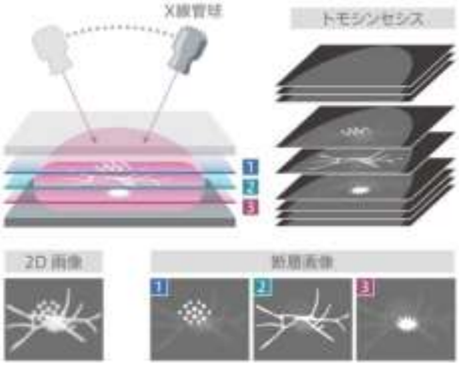
乳房は立体的な形をしているため、そのまま撮影すると乳腺との重なりで病変が隠れてしまうことがあります。そこで撮影の際に、乳房を薄く広げ透明な板で均等に圧迫します。乳房の厚みを薄くすることで、触診では見つけることが難しい微小な病変が描出しやすくなり、被ばくも少なくすることができます。このように、圧迫は診断に必要な良い画像を得るためとても重要です。当院で導入している最新装置は、乳房の厚みが変化しない範囲で圧迫する力を抑えることができるので、圧迫時の痛みを軽減します。どうしても我慢できないときは遠慮なくお申し出ください。女性技師が患者さんに寄り添い、安全、安心な検査の提供に努めております。

富士フィルム社製 AMULET Innovality

当院の装置について

当院は、2023 年にトモシンセシス機能を搭載したデジタルマンモグラフィ装置に更新いたしました。

トモシンセシスとは、X 線管球を移動しながら連続的に低線量の X 線を照射し、複数の位置から撮影した画像を再構成することで、見たい構造に焦点を合わせた画像を提供する撮影方法です。マンモグラフィでは、乳腺の中に腫瘤が隠れて見えにくいことがありますが、この機能を使用することで病変を発見することが容易となります。



通常画像　腫瘍

乳房撮影を受ける最適な時期は？

乳房はホルモンの影響により、排卵後から月経が始まる頃まで張ったり痛みを感じたりします。この時期でも検査に支障はありませんが、この時期を避け、乳房が柔らかい時期に検査を受けると圧迫による痛みが少なくなります。

被ばくについて

X 線を使った撮影ですので放射線被ばくがあります。１回の検査で乳房が受ける放射線の量は、東京からニューヨークへ飛行機で行く時に浴びる自然放射線の量の半分程度といわれています。撮影は乳房だけの部分的なものですので放射線による発がんや白血病などの心配はありません。

問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

広尾病院 放射線科　03-3444-1181 内線 2630 (平日 9:00-17:00)